

令和8年1月5日

高度技術利用研究会
会員・委員 各位

公益財団法人八戸地域高度技術振興センター
理事長 熊谷 雄一

令和7年度「高度技術利用研究会 活動報告会・特別講演・交流会」の開催について（案内）

大寒の候、皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。また平素より高度技術利用研究会の運営につきまして格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さてこの度、高度技術利用研究会活動報告会および特別講演を下記のとおり開催することになりました。つきましては、ご多用のところとは存じますが何卒ご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時：令和8年2月25日（水）活動報告会 13:30～14:00
特別講演（技術懇話会併催）14:10～15:40
交流会 15:50～16:50

2. 場 所：八戸プラザホテル プラザアーバンホール「芙蓉」

3. 内 容：〔議 事〕高度技術利用研究会 活動状況報告
〔特別講演〕講 師：桐蔭横浜大学 医用工学部 臨床工学科 大学院工学研究科長
大学医用工学部 臨床工学科長 教授
ペクセル・テクノロジーズ株式会社 取締役 池上 和志 氏
〔講演内容（予定）〕

池上教授：ペロブスカイト太陽電池を世界で初めて発明・発表した桐蔭横浜大学の宮坂力教授とともに、長年同太陽電池の研究・開発を進めてきた共同研究者であり、大学発ベンチャー企業「ペクセル・テクノロジーズ」を通じて実用化に向けて取り組んでいる。

- | |
|---|
| (1) ペロブスカイト太陽電池の基礎と開発経緯 |
| (2) 技術開発の現状と商用化の動向（ペクセル社、および同太陽電池の実用化に取り組んでいる企業等の事例なども含む） |
| (3) 桐蔭横浜大学およびペクセル・テクノロジーズの研究と取り組み |
| (4) カーボンニュートラル・エネルギー政策への貢献可能性 |
| (5) 地方都市における導入メリットと波及効果、考えられる課題 |
| (6) 今後の展望と地域が果たすべき役割 |

4. 対 象：高度技術利用研究会会員企業・委員（ご担当者の他、所属する社員・職員の皆様の出席も可能です）

5. 交 流 会 特別講演終了後、相互の交流・連携を図るため、交流会を開催致します。
飲み物（アルコール類はございません）の他、おつまみ・軽食を準備します。
交流会費：会員は年会費より負担させていただきますので不要です（1名/社）。
委員、1社から2人目以降の会員は500円ご負担願います。

6. 出欠について：令和8年2月20日（金）までに下記方法にてご返信ください（2枚目参照）。

出欠届（FAX 送信または持参）	必要事項をご記入
当案内送付に対する返信メール	メール文面に2枚目のとおり必要事項をご記入

7. 備 考：会員以外の企業様との交流を希望する声に応える形として、特別講演から会員以外の企業様にも案内いたします。

令和 7 年度 高度技術利用研究会
活動報告会・特別講演・交流会 出欠届

企業・団体名 _____

発信者所属部署・氏名： _____

電話 _____

問合先／送付先：（公財）八戸地域高度技術振興センター 宛

電話：0178-21-2131 FAX：0178-21-2119

所属・職名	ご氏名	出欠（それぞれ該当する方に○を記入）		
		活動報告会	特別講演	交 流 会
		出席・欠席	出席・欠席	出席・欠席
		出席・欠席	出席・欠席	出席・欠席
		出席・欠席	出席・欠席	出席・欠席